

製品名: カルボニル還元酵素 3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07922**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	31kDa

抗原情報

遺伝子名	CBR3
別名	CBR3; Carbonyl reductase [NADPH] 3; NADPH-dependent carbonyl reductase 3
遺伝子 ID	874.0
SwissProt ID	O75828
免疫原	抗血清はヒト CBR3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 151-200

背景

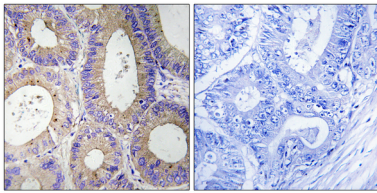
カルボニル還元酵素 3 は、多数の生物学的および薬理的に活性なカルボニル化合物を対応するアルコールに還元する触媒作用を及ぼします。この酵素は、単量体 NADPH 依存性酸化還元酵素に分類されます。CBR3 は 11.2 キロベースにわたる 3 つのエクソンを含

み、別のカルボニル還元酵素遺伝子である CBR1 と密接に関連しています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性: $R-CHOH-R' + NADP(+) = R-CO-R' + NADPH$,類似性: 短鎖脱水素酵素 / 還元酵素 (SDR) ファミリーに属します。,

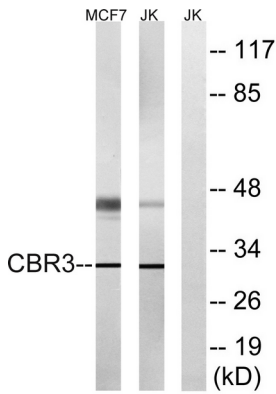
研究分野

アラキドン酸代謝;

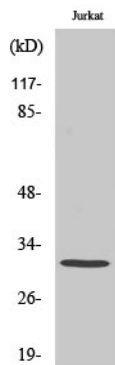
画像データ



CBR3 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



CBR3 抗体を用いた Jurkat 細胞および MCF7 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



カルボニル還元酵素 3 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析